

津島駅周辺まちづくり構想（案） 「つしまちぐらし～津島の歴史ある街に寄りそい、休日にも楽しめる、歩いて暮らせる街へ～」

歴まちエリアのイメージ



神社公園エリアのイメージ



将来像

住む人に加え、働く人、遊ぶ人など
時間を過ごす人が絶えることなく
持続的に存在するまち



駅周辺エリアのイメージ

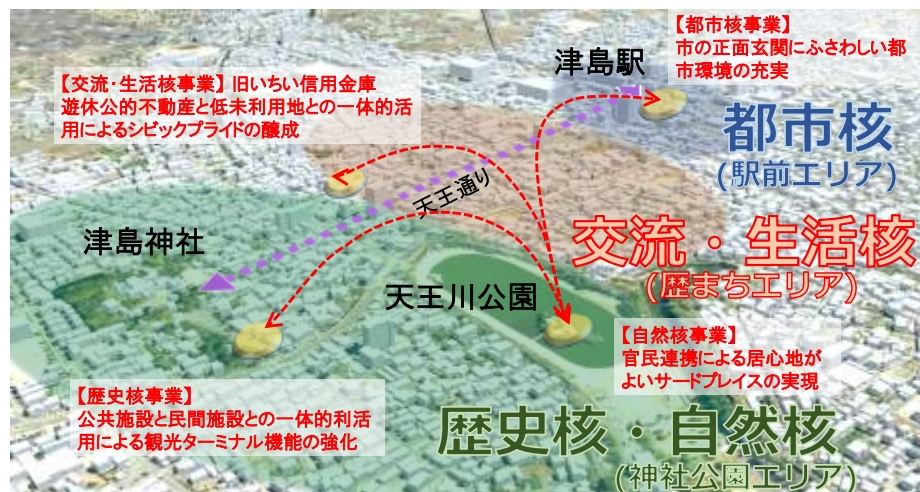


駅前広場周辺エリアのイメージ

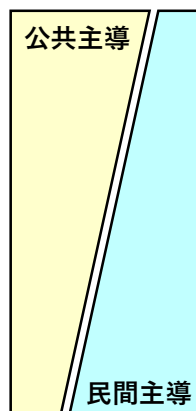


まちづくりの取組

まずは公共が主体となり核となる魅力を強化し、
天王通りや本町筋を通じて、地域総動員でまち全体の魅力を強化



役割分担の概要



計画の進め方イメージ



市が主体となり、

- ▶ 市民と将来のまちの姿を「えがく」
- ▶ 市や事業者が主体となりまちを「つくる」
- ▶ 地元の方や民間事業者等の方が主体となりまちの空間を「つかう」

を相互に関連付けながら施策を推進し、
将来像の実現を図っていきます。

津島駅周辺まちづくり構想（案）「つしまちぐらし～津島の歴史ある街に寄りそい、休日にも楽しめる、歩いて暮らせる街へ～」

実施ステップ

ステップ1

点

既存のものを活用しながら各エリアの「核となる魅力」を強化します。

ステップ2

線

「核となる魅力」をつなぐ天王通りに、まちあるき環境とゆとりある都市空間を創出します。

ステップ3

面

関係主体の総動員で、核の魅力をエリア全体に波及させ魅力ある沿道や風景を創出します。

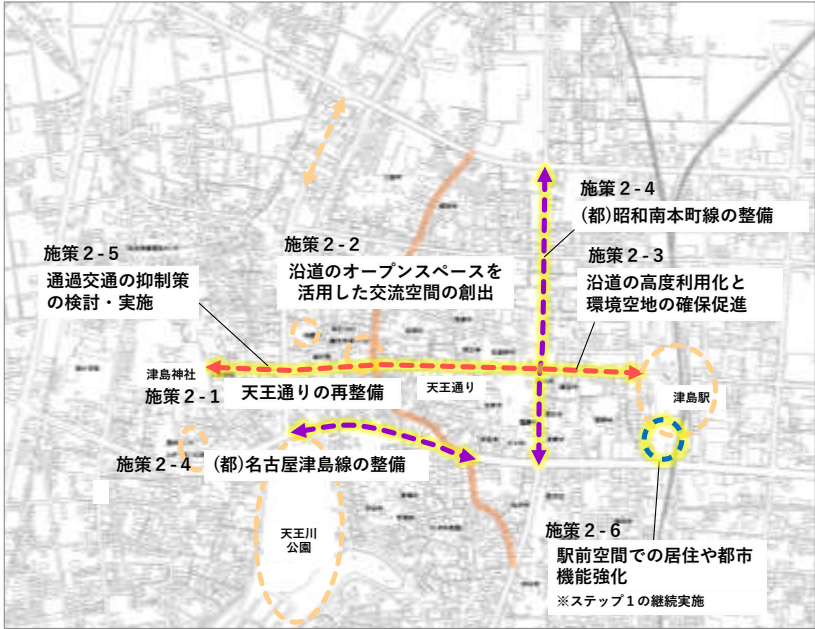
ステップ1：点 既存ものを活用しながら各エリアの「核となる魅力」を強化します。

- 施策1-1
- 天王川公園へのPark-PFI活用等による多目的利用の促進
- 公園全体の魅力向上及びまちなかの回遊性の向上
- 施策1-2
- 堀田家住宅と一体となった観光ターミナル機能整備
- 西の玄関口となる拠点整備
- 施策1-3
- 観光交流センターの機能拡充（シビックプライド醸成機能整備）
- 地元、市民の日常の集いの場としての機能拡充
- 施策1-4
- まちなかの憩いの場の創出
- 地元、市民の日常の集いの場の整備・機能拡充
- 施策1-5
- (都)橋詰又吉線の整備
- 各拠点施設への安全なアクセス経路の確保
- 施策1-6
- 駅前広場の再整備
- 交通空間の利便性向上と環境空間の高質化
- 施策1-7
- 土地の高度利用の促進
- 都市機能の集積・まちなか居住の誘導



ステップ2：線 「核となる魅力」をつなぐ天王通りに、まちあるき環境とゆとりある都市空間を創出します。

- 施策2-1
- 天王通りの再整備
- 道路空間の再配分による人中心の魅力的な空間の創出
- 施策2-2
- 沿道のオープンスペースを活用した交流空間の創出
- 周辺の居住環境の向上、回遊性の向上
- 施策2-3
- 沿道の高度利用と環境空地の確保促進（駅前エリア）
- にぎわい創出に向けた昼夜間人口の増加とゆとりある街歩き空間の確保
- 施策2-4
- まちなか周辺の幹線道路網の整備（(都)名古屋津島線、(都)昭和南本町線）
- 天王通りを経由しなくても円滑に自動車交通を処理する幹線道路網の形成
- 施策2-5
- 通過交通の抑制策の検討・実施
- 天王通りへの通過交通の抑制
- 施策2-6
- 駅前空間での居住や都市機能強化
- 駅前広場と一体となった利便性の高い場所での居住地及び都市機能の確保



ステップ3：面 関係主体の総動員で、核の魅力をエリア全体に波及させ魅力ある沿道や風景を創出します。

- 施策3-1
- 地域の特性に応じた沿道空間の高質化
- 市民や来訪者が快適に愛着を持って過ごす空間形成
- 施策3-2
- 空き家・空き店舗等の活用促進
- まちなかの賑わいと地域経済の活性化
- 施策3-3
- 防災性を高めるオープンスペースの確保
- 安全、安心、快適なまちづくりを推進
- 施策3-4
- 地域資源や公共空地等を活用した集客イベントの継続と拡大
- 来訪機会・まちづくりへの参画機会の創出
- 施策3-5
- 地元が主体となったエリアプラットフォームの構築
- 新たなチャレンジを司るみで協力して実施
- 施策3-6
- スマート技術等を活用した新たなモビリティの導入
- 回遊性向上・まちなかでの滞在時間の延伸

